

幅広い観点から施設整備に努力

環境省大臣官房
廃棄物対策課長 竹本 和彦

皆さん、こんにちは。日本環境衛生施設工業会第46回の通常総会の開会にあたりまして、一言ごあいさつをさせていただきたいと思っております。また本日、長年のご貢献によりまして、栄えある表彰を受けられました皆さん方には心よりお祝いを申し上げます。

環境省ができて、はや3年を迎え、私ども

も今年を「実行の年」ということで、廃棄物・リサイクル対策部職員一丸となりまして、がんばっていきたいと思っているところでございます。

私どもが一昨年来、中央環境審議会に検討をお願いしておりました、廃棄物リサイクルに関する基本問題の意見具申を受けまして、この3月に廃棄物処理法の改正法案の閣議決定をいたしました



た。ちょうど本日、その法案に関する参考人の陳述と質疑が、衆議院の環境委員会で行われました。

併せて、産業廃棄物の不適正な処理に伴う、その原状回復を緊急に図るための特別措置法案も提案をしているわけですが、先週の16日から衆議院の環境委員会で本格審議が始まっております。順調に審議が進みますれば、衆議院は今週中にも採決、今国会の会期中でこの二つの法案の成立を可及的速やかに目指して参りたいと思っております。

この二つの法案の提案に際しましては中央環境審議会場で非常に幅広く議論をしていただいた、その結果であります不法投棄の未然防止、リサイクルを円滑に推進していく観点から、私どもがこれまでやって参りました廃棄物リサイクル行政を更に一層推進できるよう提案をしてきているものでございます。

また、「循環型社会形成推進基本法」が平成12年に制定されましたが、この法律に基づきまして、基本計画が3月14日、閣議決定されたところがあります。基本法がその考え方、概念を示しているとするれば、この基本計画は具体的な行動計画を政府一丸となってやっていこうとする計画をまとめたものであります。法律上では10月までにということでございましたが、できるだけ早く実施に移すという観点から半年前倒しでこの計画を閣議決定したところです。

この計画の中には、2010年を目指す具体的な行動計画の目標として、資源生産性という指標を導入しております。循環を更に一層進めていこう、そして最終処分に回す処理量を半分に減らしていこうという非常に斬新な目標を掲げております。そして先程会長からもお話がございました、環境ビジネス、循環型社会形成に向けたビジネスの増進を図っていこうということも唱っております。

この基本計画は、わが国のいわば実行計画でございますが、先進諸外国からも高い関心が寄せられておりまして、私が直接参加を致しましたOECDの廃棄物に関するワーキンググループの場においても発表させていただき、大変関心が高いものでございました。また、4月の末にフランスで開催されました、G8環境大臣会合にも鈴木環境大臣が、日本の提案ということで、この基本計画に盛り込まれた数値目標を具体的に説明いたしました。こ

れは先進各国共通のものとして、具体的な目標の立て方に資するデータの整備を、これから共同してやっていこうということも、このG8環境大臣会合の最終取りまとめの中に入ったということでもあります。

最近の話題として3点目でございます。平成15年度、既に5月半ばを過ぎておりますが、政府の予算ということで、昨年の秋から年末にかけて財政当局とも大変厳しい折衝があったわけでございます。また皆さんご案内の通り、内閣では地方分権推進会議で補助金の縮減廃止の方向で、いろいろな公共事業をターゲットにして非常に厳しいご意見がございました。

そういった中で、昨年12月、ダイオキシン対策が本格規制を迎えまして、各市町村が請け負って担当しております一般廃棄物の施設については、お蔭様で全ての稼働施設において本格規制をクリアしました。これに向けて大変皆さん方のご貢献をいただきまして、私どもも一安心でございます。

ダイオキシン本格規制をクリアした後も、これに油断することなく更に一層本格的に施設を改造していこう、また新設をしていこうという動きもでございます。できるだけ前倒しで私どもは市町村に働きかけをしております。また、施設整備の観点では、ダイオキシン対策だけではなくて、それ以外の施設整備、例えば汚泥再生処理センターとか、最終処分場の整備とか、様々な幅広い観点から施設整備を努めてやっていきたいと思っております。

大変厳しい財政状況の中で、私どもとしては、地方の要望に十分応えられるだけの予算が確保できたと思っております

今後とも、更に来年度に向けて、現場に精通した皆さん方からもアイディアを出していただきまして、私どもも、一層適正な廃棄物の処理に向けて施設整備を充実させていきたいと思っております。ところでございます。

本日は、廃棄物リサイクル対策の関係でいくつかの話題をお話しさせていただきました。この日本環境衛生施設工業会、皆さん方の今後ますますのご発展、ご健勝をお祈りいたしまして私のあいさつとさせていただきます。

(7月1日付で大臣官房審議官に就任)